

47 イチゴのハダニ類に対する殺ダニ剤の効果

福島県農業試験場病理昆虫部・平成12年度農業試験場試験成績概要

1 部門名 野菜－イチゴ－病虫害防除 分類コード 03－07－23000000

2 担当者 中村 淳・高倉 慎

3 要 旨

イチゴに寄生するナミハダニ(6個体群)、カンザワハダニ(1個体群)を保原町、福島市、棚倉町、相馬市において採集し、雌成虫に対して6剤、卵に対して2剤の常用濃度における殺虫(卵)効果を調査した。

(1) ナミハダニの雌成虫に対して、ミルベメクチン水和剤、ビフェナゼート水和剤が高い効果を示した。酸化フェンブタスズ水和剤は福島市の個体群を除き、比較的高い死虫率を示した。クロルフェナピル水和剤は、地域により効果に大きく差が認められ、福島市、棚倉町の個体群では効果が高かったが、保原町、相馬市の個体群では低かった。アクリナトリン水和剤、テブフェンピラド乳剤は、全個体群で効果が低かった。

(2) ナミハダニの卵に対して、エトキサゾール水和剤は福島市の個体群で効果が低く、保原町、相馬市の各1個体群でも効果がやや低かった。ヘキシチアゾクス水和剤は、全個体群で効果が極めて低かった。

(3) カンザワハダニに対しては、雌成虫、卵ともに全ての供試薬剤が100%の死虫(卵)率を示し、高い効果が認められた。